

機能的なまちづくり

国道バイパス

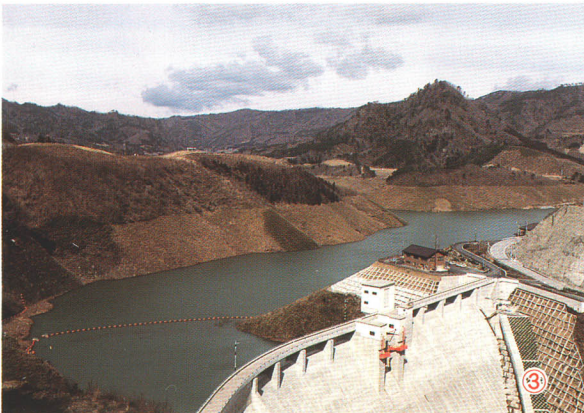
国道六号、一一三号、一一五号のそれぞれについて、幅二十五メートル、四車線のバイパス建設が進められています。

国道六号バイパスは、市内程田―新地町駒ヶ嶺間の九・九キロメートル。国道一一三号バイパスは、相馬中核工業団地の東地区と西地区を結ぶ四・二キロメートルで、すでに二車線が開通しています。また、国道一一五号バイパスは、市内中野―粟津間の二・九キロメートルです。

これらのバイパスが完成すれば、市街地の交通混雑が緩和されるほか、仙台や山形、福島から、市街地を通らずに中核工業団地に行けるようになります。

① 国道113号バイパス

② 県道相馬浪江線



③ 真野ダム

④ 松ヶ房ダム

十分に確保された水源

真野ダム・松ヶ房ダム

真野ダムは、真野川の上流部、相馬郡飯館村に平成三年三月に完成した多目的ダムです。堤高六十九メートル、総貯水容量三、六二〇万立方メートルの重力式コンクリートダムです。このうち、都市用水は、相馬市などに上水道用水として、ダム地点において一日最大二三、三〇〇立方メートル、また、相馬中核工業団地に工業用水として、一日最大五九、七〇〇立方メートルの取水を可能にしています。

松ヶ房ダムは、相馬市と新地町にまたがる農地二、八六八畝の農業用水不足を解消するため、市内山上字松ヶ房地内に建設された中心コア型ロックフィルダムです。総貯水容量は、九七一万立方メートルで、平成八年に貯水が始まりました。これにより農業用水不足が解消され、安定した農業生産基盤の確立が期待されます。

